

ご声援ありがとうございました！

箱根駅伝 応援ポイント特集



ゴール直前、最後の応援に力が入る



大手町—ゴールを待ち受ける



川崎ポイント—多摩区3大学協議会(専大・明大・日本女子大)で専大・明大を応援。青木一多摩区長、矢澤博川崎市議会議員も駆けつけた



川崎ポイント—新設のポイントにも多数の方が集まりました



川崎ポイント—ご声援ありがとうございます



辻堂ポイント—家族そろって応援です。ハイ、チーズ！！



辻堂ポイント—育友・校友の大応援団



大森ポイント—早朝から駆けつけてくださったみなさん



保土ヶ谷ポイント—沿道に並ぶ専大の応援旗



平塚ポイント—往路復路ともにたくさんの人が集まりました



入生田ポイント—雨と寒さの中でも笑顔で応援

仲六郷・雑色ポイント—身を乗り出しての大声援



茅ヶ崎ポイント—応援はまかせといて！



小田原ポイント—小田原緑風クラブのみなさんが(株)湘南前に集結

秋の褒章

秋の褒章(1月7日現在判明分)

◇瑞宝小綬章

梶本 道雄氏(かじもと・みちお=昭25専法)

魚田ゼミ

大学創立130年記念事業協賛 OBOG親睦会

11月19日に経営学部・魚田勝臣研究室は「専修大学創立130年記念事業協賛」のOBOG親睦会を生田キャンパスで開催しました。例年通り、研究室の諸先輩方と現役生が一体となり親睦を深めました。

本年度は専修大学のマスコットである緑色のライオンが付いた記念ストラップを先輩方全員にお配りし、記念事業協賛の募金を呼びかけました。予想以上に、多くの先輩方から多額の募金を集めることができ、大学に対しても貢献できる企画になったと感謝しております。募金は専修大学募金局に寄付いたします。



(魚田研究室15期生・永田 理子)

80人が結集して 商・松原会総会

12月3日、新宿プリンスホテルにおいて、松原会総会及び松原成美教授を囲む懇談会を開催しました。今回は、ゼミ開設から37周年目の総会ということでOBOG、現役合わせて80余人の出席があり、遠くからの参加者もあって、盛会でした。

総会では、会長挨拶の中で、32期生の長谷川陵子さんが平成17年度公認会計士第2次試験に合格したことなどの報告がありました。ご出席された皆様ありがとうございました。(第35期・商学研究科修士課程1年・柴田恵美子)



《専大校友を訪ねて》

仲間を信頼する共同作業

— 話題作「輪舞曲～ロンド～」(TBS日曜劇場)の脚本家 渡邊睦月さん(平6文・平9院文修)

昨年は「ボイスレコーダー～残された声の記録～ジャンボ機墜落20年目の真実」、「日本のシンドラマー 杉原千畝物語 六千人の命のビザ」などの社会派ドラマを。一昨年には、報道とドラマを融合させた「告白～私がサリンを撒きました～オウム10年目の真実」を手がけた。

年明けは、竹野内豊とチェ・ジウがダブル主演する「輪舞曲」(1月15日スタート・日曜午後9時)を担当している。日韓両国を舞台に繰り広げられる壮大なラブストーリー＋サスペンスは、放送前から話題沸騰。信頼するプロデューサーと、あえて難しいテーマに取り組んだ。

学部・大学院を通して現代文学が専門の柘植光彦教授に師事。「研究者には向いていない」と進路に悩んでいた頃、何気なく見たドラマ「古畑任三郎」に衝撃を受けた。「三谷幸喜さんの脚本に、ものすごく引きつけられて。これだ！ とひらめきました」。

翌日には脚本家になろうと決意。脚本家で映画監督の新藤兼人さんが学長の「シナリオ講座」に通ったり、テレビ局主催のコンクールに応募しながらチャンスを待つ。そして2000年、「教習所物語」第8話でデビューを果たした。社会派からコメディ、恋愛ものまで幅広いテーマを扱うため、膨大な資料を一人で調べる。「柘植教授に鍛えられたので苦になりません」と笑う。

「何度もプロデューサーやディレクターと話し合って企画を練ります。ドラマ1話につき、原稿用紙50枚程度書きますが、直すことはしょっちゅう。でもそれが仕事なんです。共同作業の仲間(スタッフや役者さん)に引き継いで、想像以上の映像になったときに最高の喜びを感じます」。

夢にまで仕事が出てくるという多忙な日々だが、フラメンコとテニスで気分転換を図る。

「歴史ものが好き。いつかは『大河ドラマ』を」と胸に秘めている。